

I 教育委員会当初予算について

【当初予算編成の基本的な考え方】

障害のある児童・生徒に対する特別支援教育の総合的な推進及び、不登校、いじめ等問題行動への適切な対応を図るとともに、経年劣化が著しく耐震性確保が必要な教育施設に対し、「県立教育施設再整備10か年計画」（まなびや計画）に基づく対策を着実に実施するなど緊急度の高い施策・事業に優先的に取り組む。

さらに、活力と魅力ある県立高校づくりを継続して推進するとともに、高い指導力と意欲をもった教職員の確保・育成のため、多様で優秀な教職員の確保を進め、人材の育成も取組みを進める。

重点的な取組

1 特別支援教育の総合的な推進

特別支援学校へ通う児童・生徒の障害の重度・重複化、多様化に対応するため、医療等に関する専門性を有する教員等を新たに配置するなどにより、特別支援教育をより一層充実させる。

また、児童・生徒の急増による既設養護学校の過大規模化に対応するため、障害種別を超えて教育を行う「相模原方面特別支援学校」の平成23年度開校に向けて、基本実施設計等を行うとともに、県立高校改革推進計画により非活用となる岩戸高校を特別支援学校に転用するため、改修工事に必要な基本実施設計を行う。

さらに、県立特別支援学校に在籍する児童・生徒の通学のため、スクールバスの増車や車両の更新を図る。

2 不登校、いじめ、暴力行為への対応

児童・生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラー等による相談体制の充実を図る。

また、社会福祉の観点から、いじめ・不登校等に対応するため、新たに専門家（社会福祉援助技術者）を配置するほか、継続してNPO等との連携・協働のもと、不登校状態にある児童・生徒の社会的自立や学校生活の再開を目指す。さらに、いじめ、暴力行為等の未然防止対策を充実するなど、一人ひとりの状態に合わせた多様な支援策を展開する。

3 快適で安全な教育環境の整備

「県立教育施設再整備10か年計画」に基づき、早急な対応を求められている耐震化対策及び老朽化対策などを計画的に取り組む。

また、県立高校改革推進計画やアクションプログラム（県有施設耐震化事業計画）、アスベスト対策についても既存計画に基づき着実に推進する。

4 活力と魅力ある県立高校づくり

単位制普通科高校や総合学科高校をはじめ、新たな専門高校、通信制新タイプ高校、中等教育学校（中高一貫教育校）など新しいタイプの高校等の設置拡大を図るとともに、全ての県立高校において魅力と特色づくりに取り組む県立高校改革を着実に推進する。

5 高い指導力と意欲をもつ教職員の確保・育成

多様で優秀な教職員の確保と指導力の高い教職員の育成のため、新たに教員志望者への学校現場を体験する機会を提供するほか、新規採用予定者に対する研修を実施する。

また、既存の研修の見直し・充実により教員の指導力の向上を図るなど、人材の育成に取り組む。

